



はじめに

For a Future Full of Smiles😊

ひとがつながり
DXで未来を拓く

最高に



住みやすいまち鈴鹿へ

みんなが元気でいきいきと 活気あるまちづくりに向けて

少子高齢化に伴う人口減少社会に直面する中、基礎自治体におきましては、持続可能なまちづくりに向けた取組が求められています。

また、大きく社会情勢が変化していく中で、市民の皆様に住み続けたいと感じていただくとともに、本市が多くの方から「選ばれる自治体」となるためには、「住みやすさ」が重要になっています。

そのため、鈴鹿市総合計画2031では、将来都市像として、「ひとがつながり DXで未来を拓く #最高に住みやすいまち鈴鹿」を掲げました。

この将来都市像の実現に向け、デジタル技術の活用により、暮らしをより良いものへと変革するDXをはじめ、多様性のある社会を目指すSDGsの取組や自然環境の保全と共生を図るカーボンニュートラルの推進など、これからの時代に合ったものを積極的に取り入れながら、市民の皆様希望と期待をもっていただけるような施策を展開し、活力を生み出してまいります。

さらに、未来を担う全ての子どもたちの健やかな育ちと生きる権利を保障する取組を強化するなど、子育てや教育の環境を更に充実させながら、若い世代の定着も図ってまいります。

そして、本市は、南海トラフ地震の想定震源域にあり、甚大な被害も懸念されていることから、想定される震度や大津波への具体的な対策を講じることにより、災害に強いまちづくりを着実に進めてまいります。

新しくスタートする本計画の下、市民の皆様が、自分らしく輝き、元気でいきいきと活気のある生活をしていただけるように、皆様と連携し、「チーム鈴鹿」で取り組むとともに、誰もが暮らしやすいまちづくりを着実に進めることで、安全で安心して暮らすことができるよう、力強い一歩を踏み出してまいります。

最後に、本計画の策定に当たり、多くの貴重な御意見をいただきました
皆様に心から御礼
申し上げます。

令和6年4月

鈴鹿市長 末松則子

